



2012年3月期 第2四半期決算説明会

富士機械製造株式会社

Nov. 2011

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



連結業績

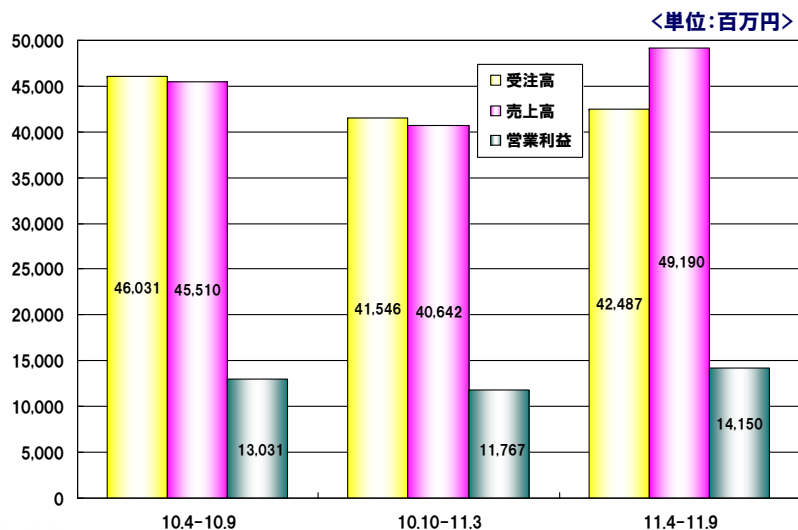
第2四半期連結業績実績

	10.4-10.9 実績	10.4-11.3 実績	11.4-11.9 予想 (5月12日)	11.4-11.9 実績	対前年同期 増減率	予想 増減 (5月12日比)
(単位:百万円)						
売上高	48,320	92,893	53,000	52,871	9.4%	△129 △0.2%
営業利益	10,847	20,694	12,100	12,367	14.0%	267 2.2%
営業利益率	22.4%	22.3%	22.8%	23.4%	1.0%	0.6%
経常利益	10,452	20,289	12,200	12,099	15.8%	△101 △0.8%
当期純利益	5,815	12,914	7,300	6,073	4.4%	△1,227 △16.8%
一株当たり 当期純利益	円 118.97	円 264.19	円 149.34	円 124.25		
一株当たり 配当金	円 17.50	円 37.50	円 20.00	円 20.00		

連結業績

電子部品組立機事業

(単位:百万円)	10.4-10.9 実績	10.10-11.3 実績	11.4-11.9 予想 (5月12日)	11.4-11.9 実績	対前年同期 増減率	予想 増減 (5月12日比)
受注高	46,031	41,546	46,500	42,487	△7.7%	△4,013 △8.6%
売上高	45,510	40,642	49,000	49,190	8.1%	190 0.4%
営業利益	13,031	11,767	—	14,150	8.6%	—
営業利益率	28.6%	29.0%	—	28.8%	0.2%	—

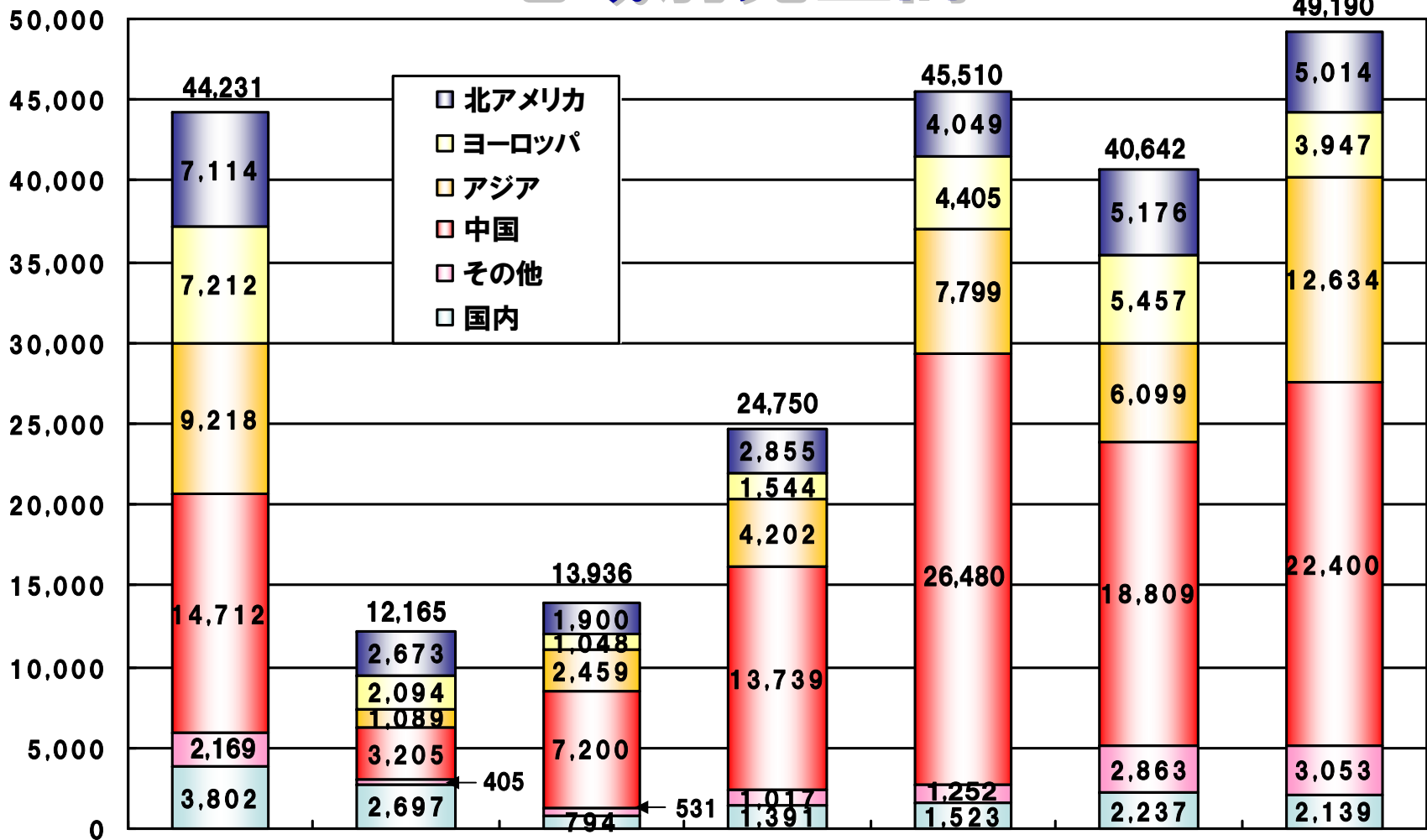


NXT II

連結業績

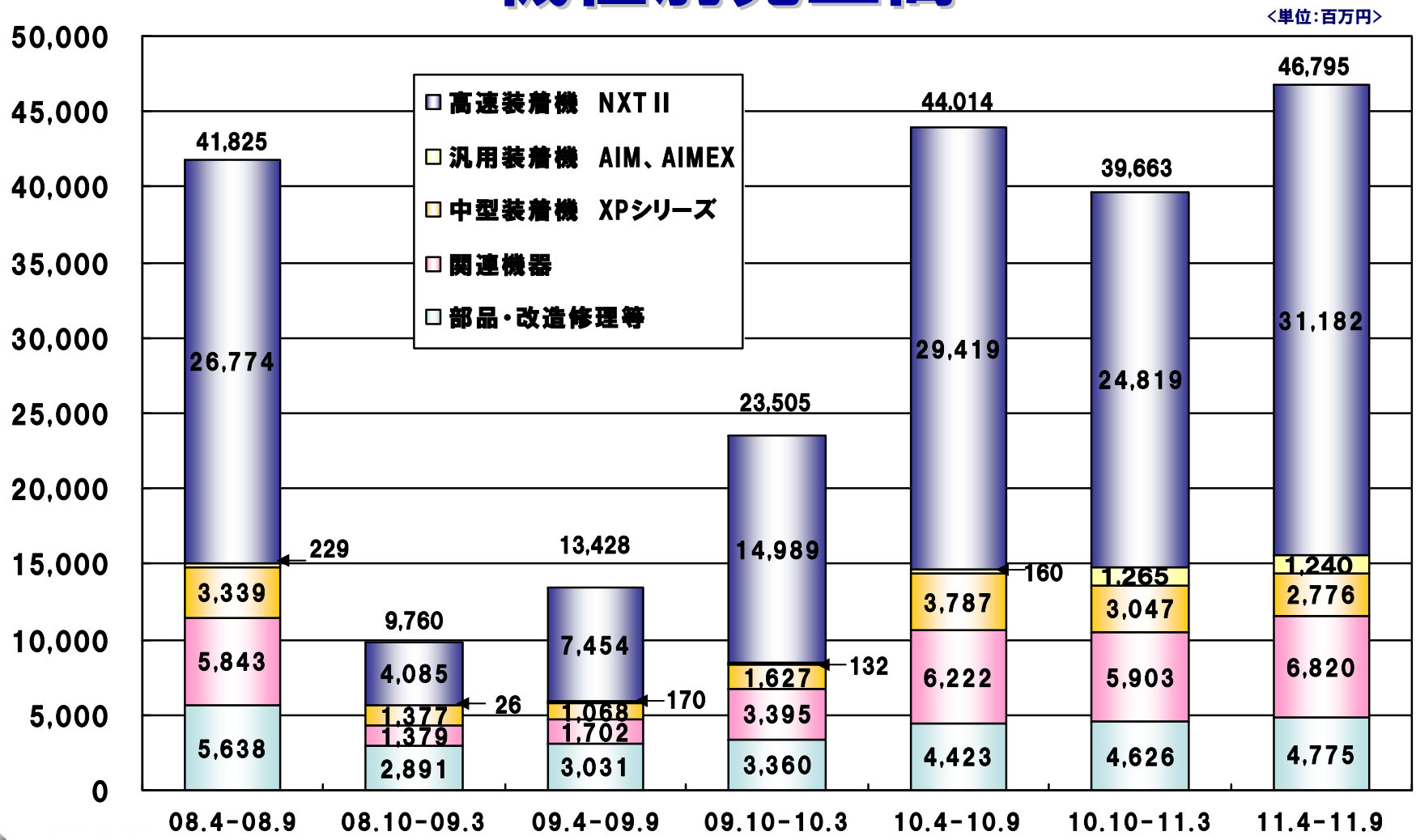
電子部品組立機事業 地域別売上高

<単位:百万円>



単体業績

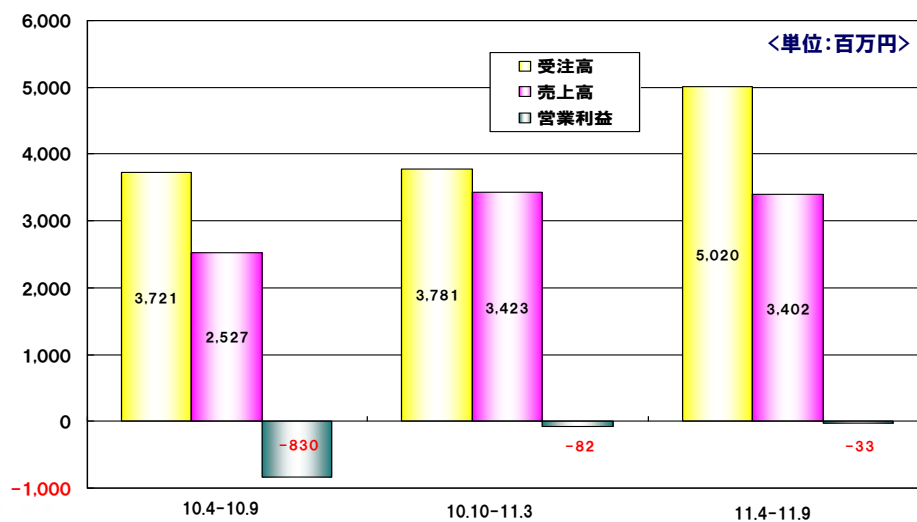
電子部品組立機事業 機種別売上高



連結業績

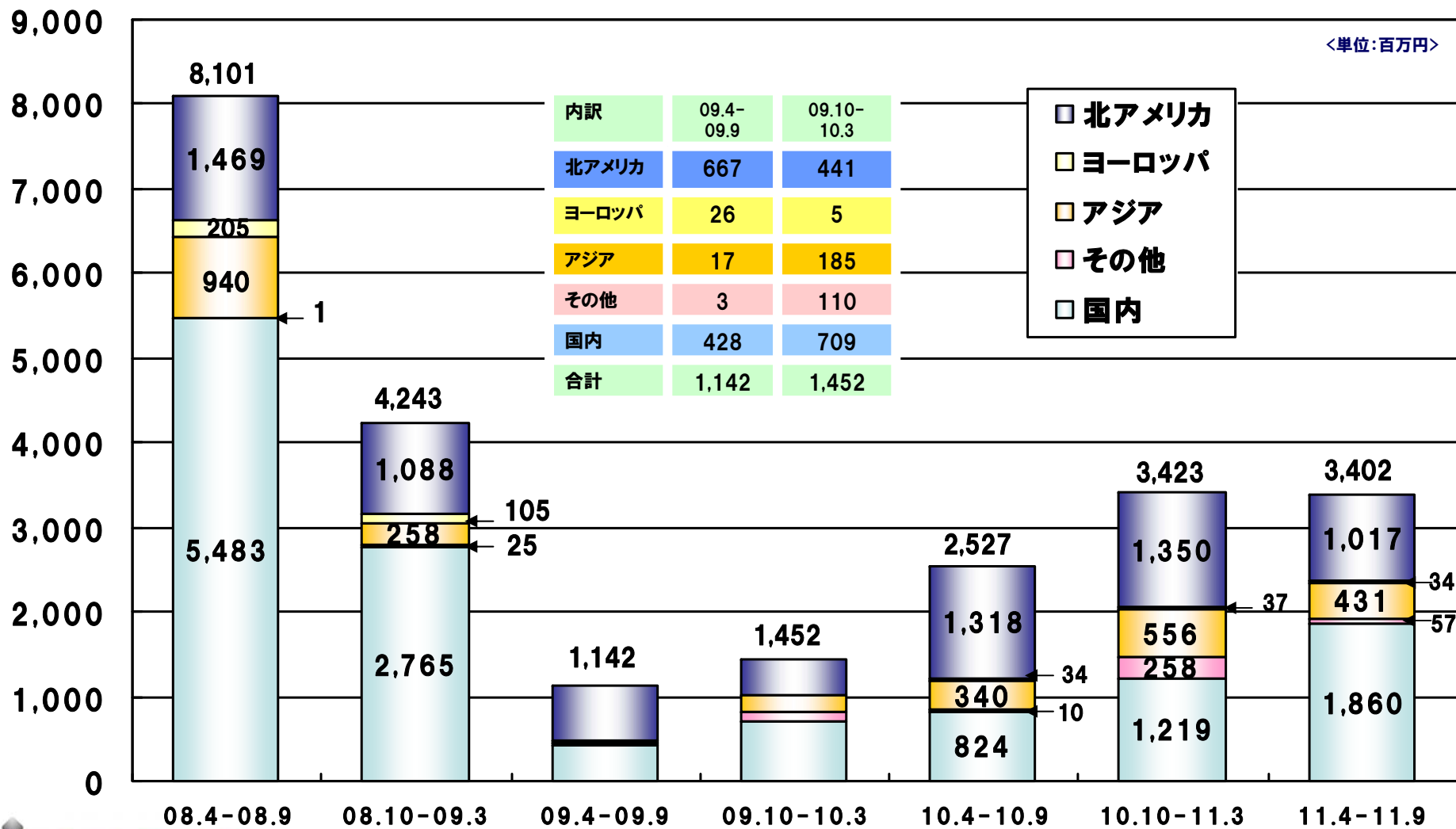
工作機械事業

(単位:百万円)	10.4-10.9 実績	10.10-11.3 実績	11.4-11.9 予想 (5月12日)	11.4-11.9 実績	対前年同期 増減率	予想 増減 (5月12日比)
受注高	3,721	3,781	4,200	5,020	34.9%	820 19.5%
売上高	2,527	3,423	3,700	3,402	34.6%	△298 △8.0%
営業利益	△830	△82	—	△33	—	—
営業利益率	△32.9%	△2.4%	—	△1.0%	—	—



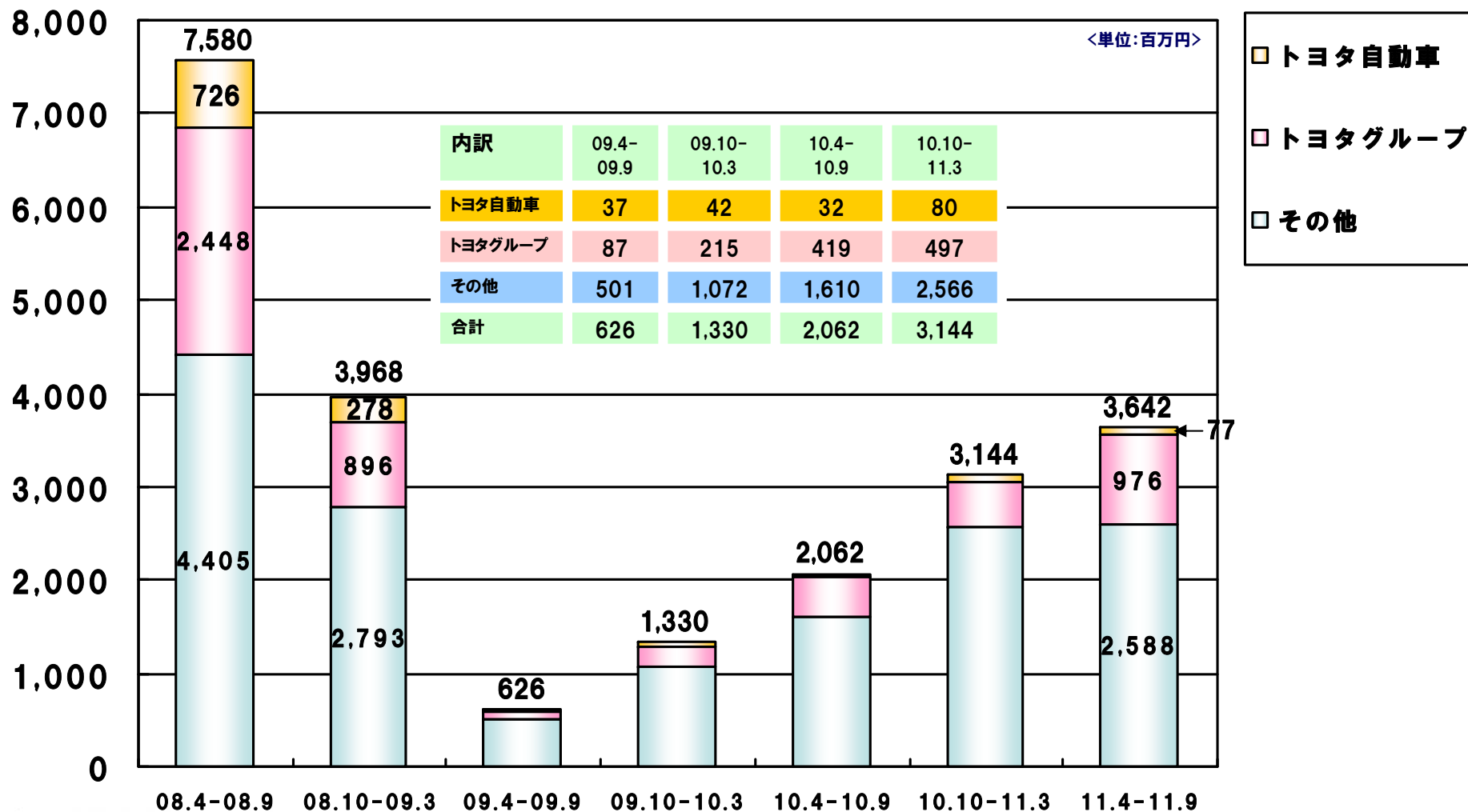
連結業績

工作機械事業 地域別売上高



単体業績

工作機械事業 主要ユーザー別売上高



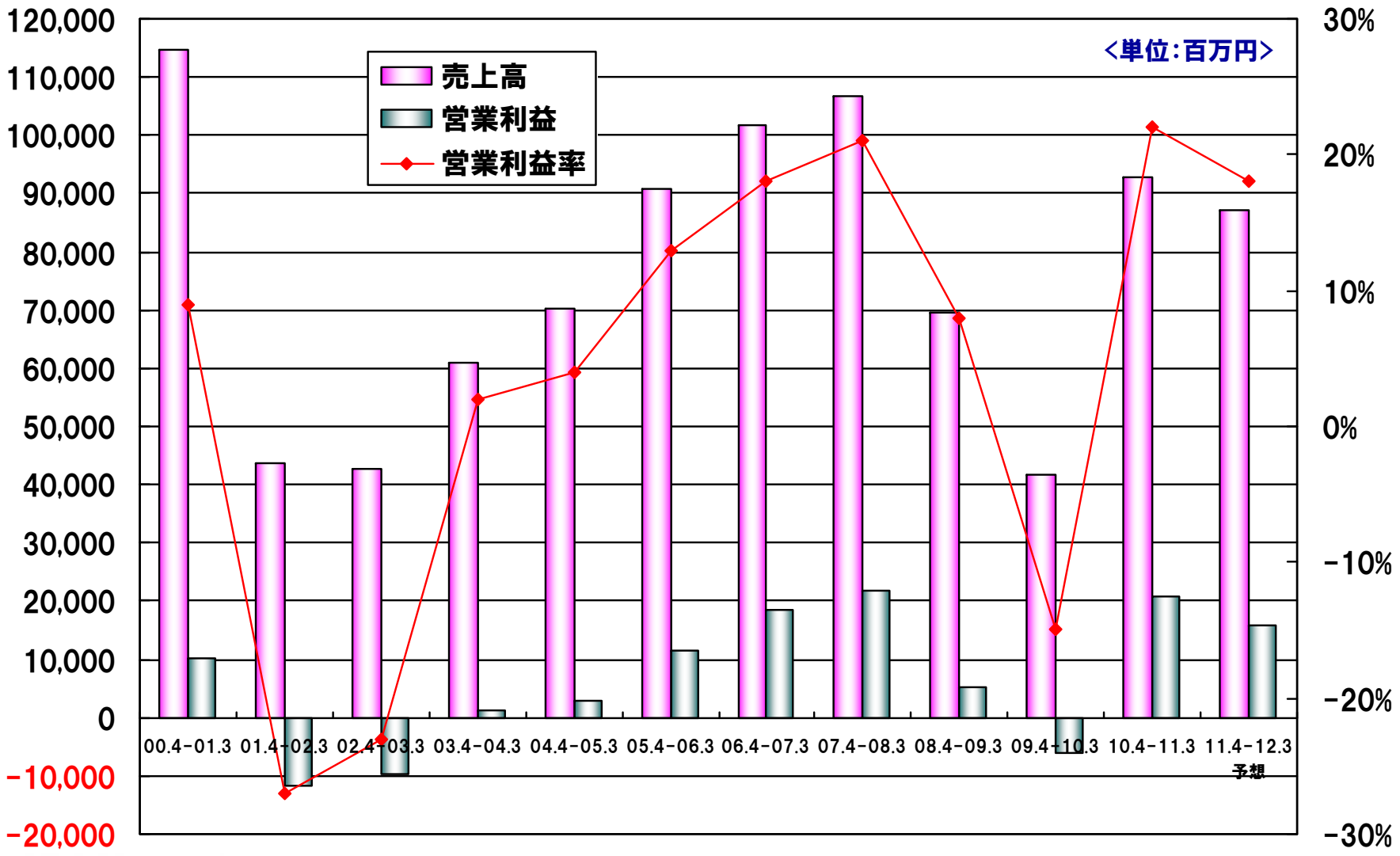
業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)	10.4-11.3 実績	11.4-12.3 期初予想 (5月12日)	11.4-12.3 修正予想 (11月10日)	対前期 増減率	修正予想 増減 (5月12日比)
売上高	92,893	94,000	87,000	△6.3%	△7,000 △7.4%
営業利益	20,694	19,000	15,700	△24.1%	△3,300 △17.4%
営業利益率	22.3%	20.2%	18.0%	△4.3%	△2.2%
経常利益	20,289	19,100	15,100	△25.6%	△4,000 △20.9%
当期純利益	12,914	11,500	7,700	△40.4%	△3,800 △33.0%
一株当たり 当期純利益	円 264.19	円 235.26	円 157.52		
一株当たり 配当金	円 37.50	円 40.00	円 35.00		

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結セグメント

受注高

売上高

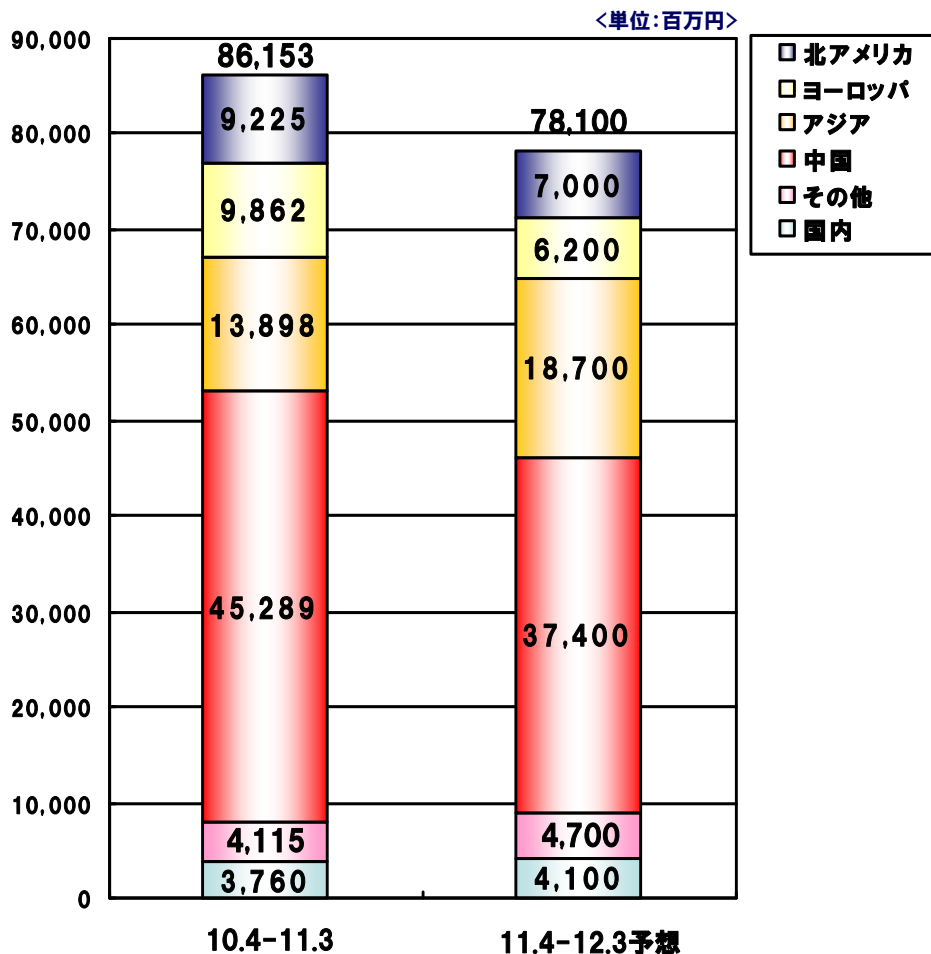
受注残高

(単位:百万円)	10.4- 11.3 実績	11.4- 12.3 予想 (11月10日)	対前期 増減率	10.4- 11.3 実績	11.4- 12.3 予想 (11月10日)	対前期 増減率	11.3 実績	12.3 予想 (11月10日)	対前期 増減率
	電子部品組立機	87,578	72,700	△17.0%	86,153	78,100	△9.3%	11,968	6,568
工作機械	7,502	10,000	33.3%	5,951	8,500	42.8%	3,420	4,920	43.9%
その他	962	300	△68.8%	788	400	△49.3%	262	162	△38.1%
合計	96,043	83,000	△13.6%	92,893	87,000	△6.3%	15,651	11,651	△25.6%

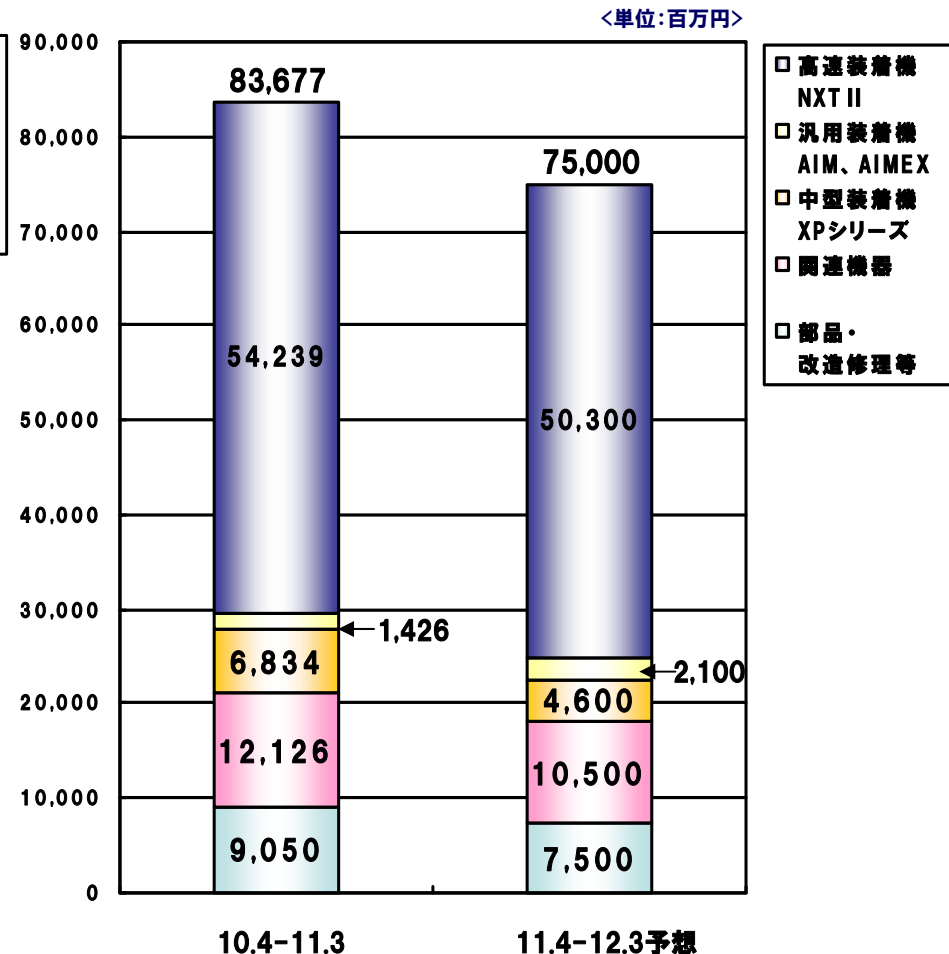
業績予想

電子部品組立機事業

地域別売上高(連結)



機種別売上高(単体)

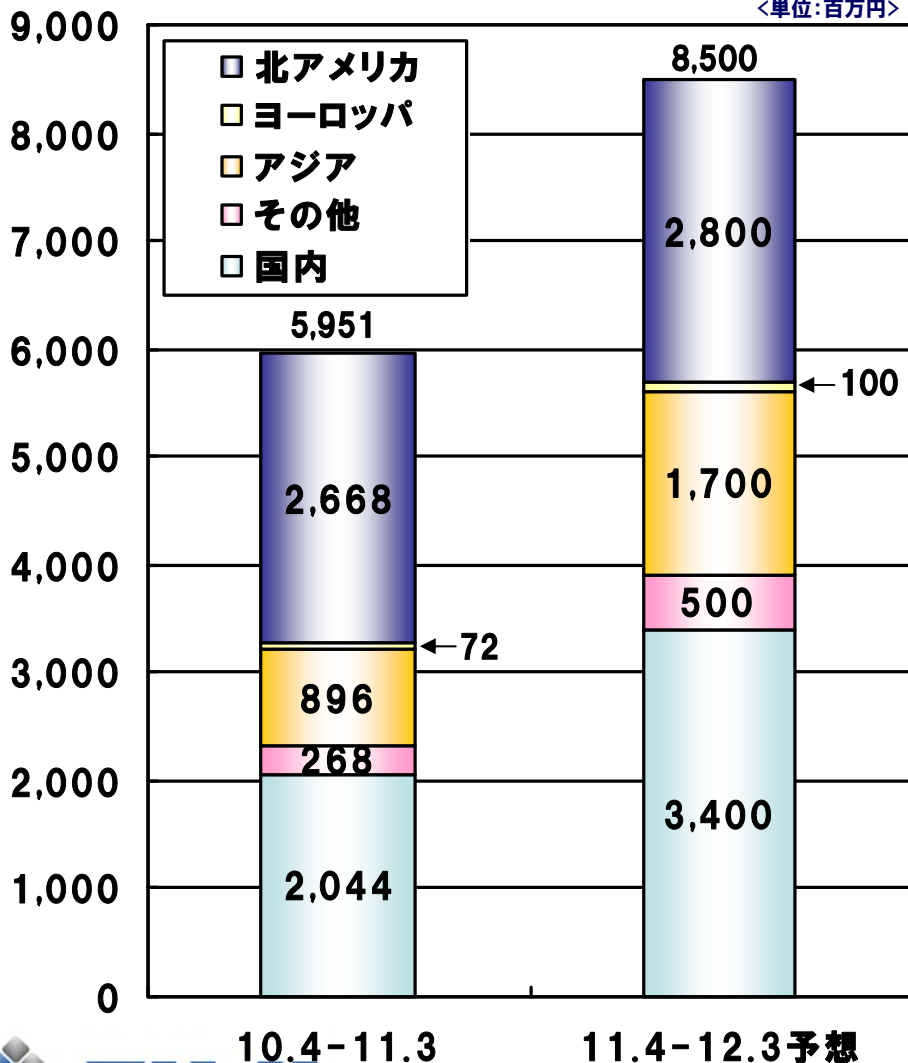


業績予想

工作機械事業

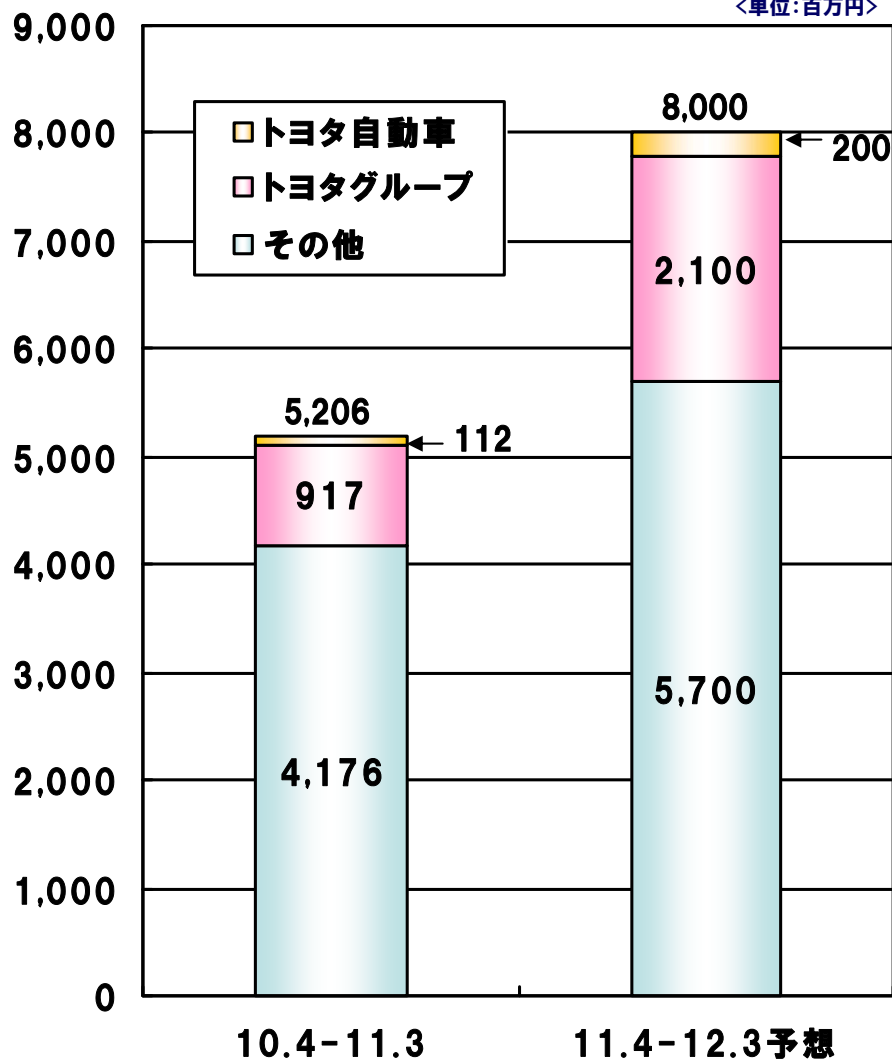
地域別売上高(連結)

<単位:百万円>



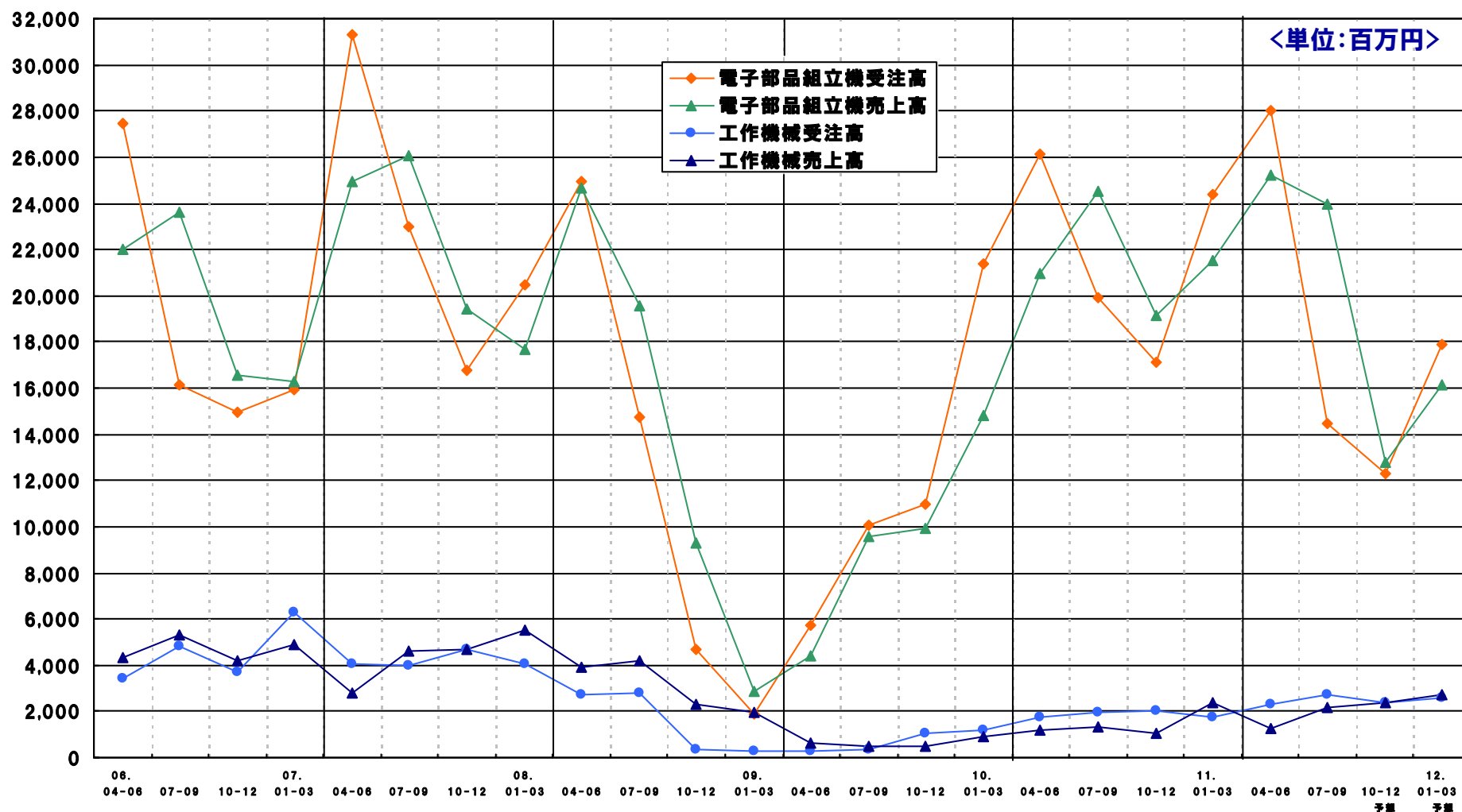
主要ユーザー別売上高(単体)

<単位:百万円>



業績予想

四半期別連結受注高・売上高



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

電子部品組立機事業

コア事業の拡充

- ・製品競争力強化および次世代製品開発
- ・グローバル営業の積極展開
- ・量的変動への迅速な対応

工作機械事業

抜本的な収益構造改革

- ・価格競争力の高い製品開発
- ・製造コスト削減、リードタイム短縮
- ・新市場、新分野の開拓

スピード経営の推進

NEO FUJI - 新たなるチャレンジ -

技術開発センター

新規事業開発の推進加速

- ・成長市場に向けた迅速な商品化、事業化
⇒大気圧プラズマユニット「Tough Plasma」
⇒汎用自動組立・加工機「sFAB」
- ・要素技術開発、次世代技術開発

全社

活力ある組織

- ・品質の飛躍的向上、コストの徹底削減
- ・マネジメントレベルの向上
- ・良い風土づくり... 明るい挨拶、整理整頓...
- ・7つの習慣“絆”の浸透
- ・BCP強化、環境対応強化(省エネ)

電子部品組立機事業

事業部方針

『GLOBAL30』 開発・営業・生産の三位一体による革新と継続

事業環境

■マクロ経済

- ◆ 国内:歴史的円高、迷走する貿易協定議論、高い法人税、ものづくりの空洞化
- ◆ 米国のリセッション懸念・高い失業率、欧州金融不安、中国の金融引き締め
- ◆ 基調は新興国の高く持続的な成長

■上半期旺盛のマウンター需要は下半期落ち込む

- ◆ 市場規模:2011年度 約2,500億円を見込む(上期1,500億円、下期1,000億円)
- ◆ 短期展望:スマートフォン、タブレットPC市場の成長
PC,薄型TVの成長鈍化
現マクロ経済環境下における投資マインドの低下
- ◆ 中期展望:需要基調は季節変動要因が主体、中国を中心に底堅く推移
⇒市場の量的質的变化への迅速かつ柔軟な対応
技術面:高精度、高密度、混載、積層など高付加価値実装の要求
価格面:設備の低価格志向の高まりと二極化

電子部品組立機事業

事業戦略

営業

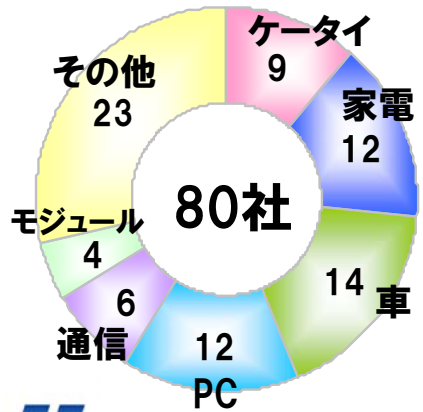
- 市場開拓・新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
※新製品NXT II c、AIMEX、NXTPの拡販
- 販売網の強化、代理店の育成
- ユーザーの生産性向上支援

開発

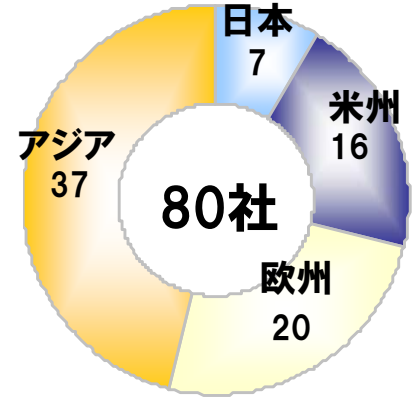
- 製品競争力強化、次世代製品開発
- トータルソリューションビジネスの拡充、省エネへの取り組み
- 開発スピード向上

生産

- 物流改革によるリードタイム短縮および製造コストの削減
- 景気変動への俊敏なる対応
- 世界最適地調達の推進による調達コストの削減



新規獲得顧客
(含 既存顧客新Div)
2011年 4-9月



2007年度	179社
2008年度	82社
2009年度	98社
2010年度	178社

工作機械事業

事業部方針

利益確保に向けた構造改革

事業環境・戦略

■外需主導で堅調な回復傾向

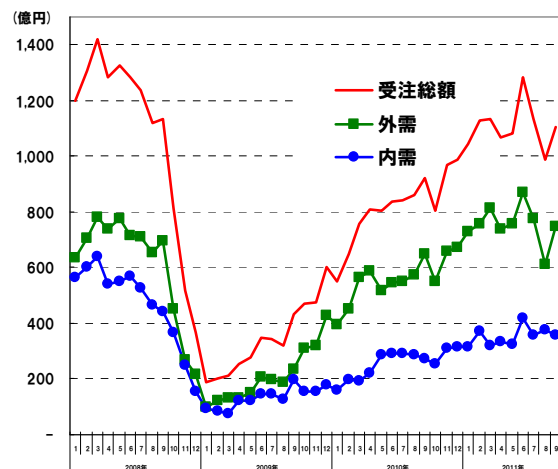
- ➔ 中国を中心に堅調な新興国需要、欧米の回復持続
- ➔ 日工会の2011年受注額は1兆3000億円超の見込み(海外生産拡大傾向)
- ➔ 台湾、韓国勢の台頭、タイ大規模洪水による自動車業界の生産落ち込み

◆新製品(TN・CSDシリーズ、GEN400、i-TeN)の拡販

- ➔ 新興国での販売力強化(中国・タイ・ブラジル市場の開拓、販売網の構築)
- ➔ オンリーワン技術(デフ用内球面加工)、画像処理技術(非接触加工精度向上)、省エネ

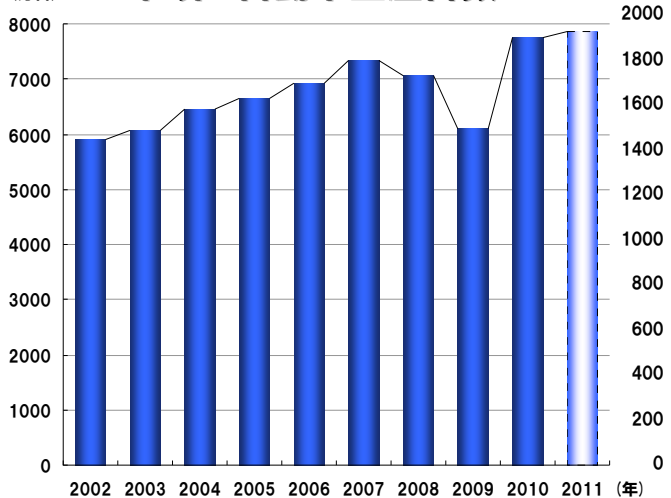
◆事業の更なる合理化、体質強化

工作機械受注額月別推移



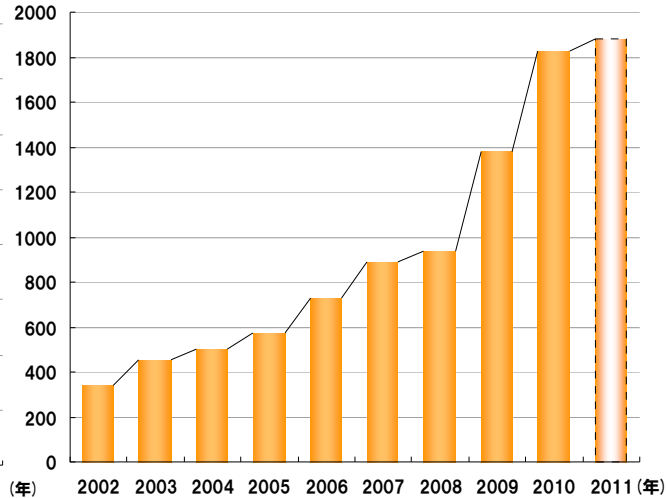
出所:日工会

世界 自動車生産台数



出所:世界自動車工業会資料よりFUJII作成

中国 自動車生産台数



出所:中国汽車工業協会資料よりFUJII作成



FUJII

innovative spirit